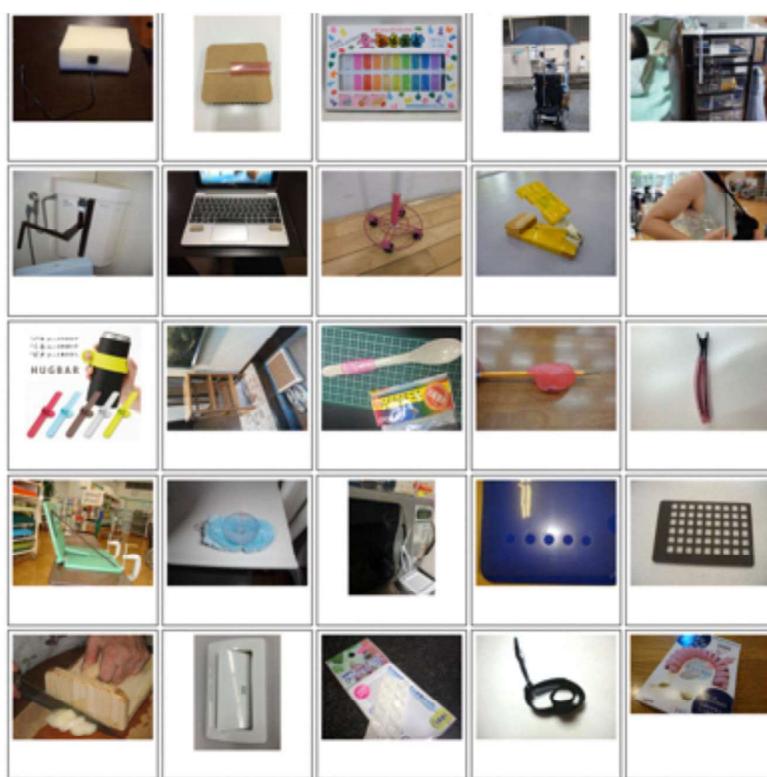


生活行為工夫情報について (利用登録者向け事業説明資料)

2022年2月

生活環境支援推進室

生活行為工夫情報には、多くのOTの臨床の
知見が詰まっています



事例登録状況

<登録件数> (2016~2020年度)

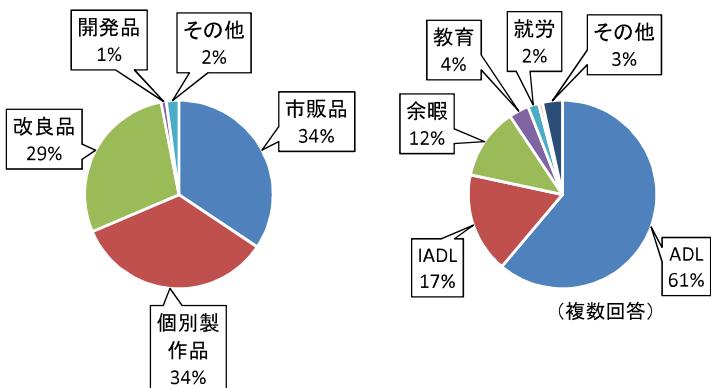
1,320件

<事業実施士会>

全国26カ所

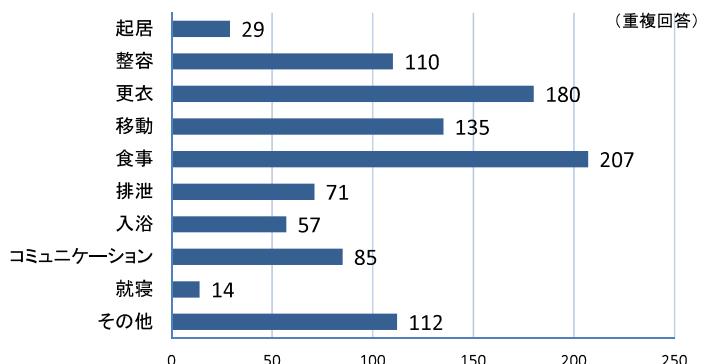
北海道、福島、茨城、栃木、東京、神奈川、
新潟、富山、石川、福井、山梨、静岡、
愛知、滋賀、大阪、兵庫、和歌山、広島、
山口、愛媛、福岡、佐賀、長崎、熊本、
鹿児島、沖縄

用具・活動の種別状況

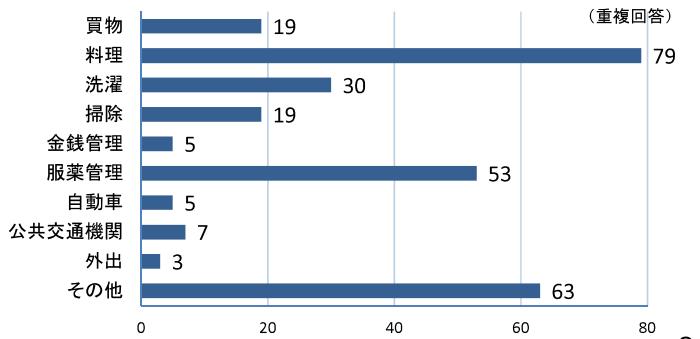


活動の種別状況

<ADL>



<IADL>



3

Q1: 認知症の方が電子レンジで食べ物を温めるときに、ボタンを押し間違えてしまいます。



どんな改善方法がありますか？

4

登録事例から



不要なボタンを目隠しし、必要なボタンだけにする方法や

5

ボタンを目立たせて、手順を説明する方法も



工夫情報には、同じ問題を異なった視点で改善している例が紹介されています。

6

Q2:この道具、どんな場面で利用できそう？



工夫情報では、同じ道具を、異なる疾患や活動の工夫として紹介されています

7

登録事例から



薬の袋が破けずいで困っている脳梗塞の方に
洗濯バサミを用いて薬の袋が切れた事例

8

登録事例から



杖置き場で困っている方に洗濯ばさみで杖立てを作成した事例

9

Q: ソックスエイドの利用されるかたはどんな人？



10

教科書では、股関節を曲げられない疾患の方が使ったりしますが？



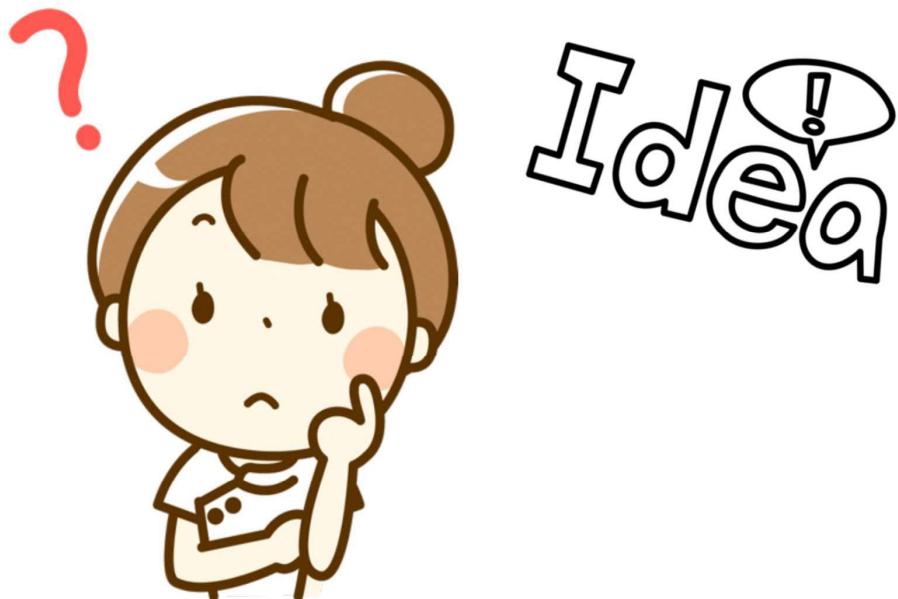
疾患以外の方も使える場面があります

11



道具は、障害の方のためのものではなく、しづらさや困難さを抱えているすべての人の手助けに有用です。

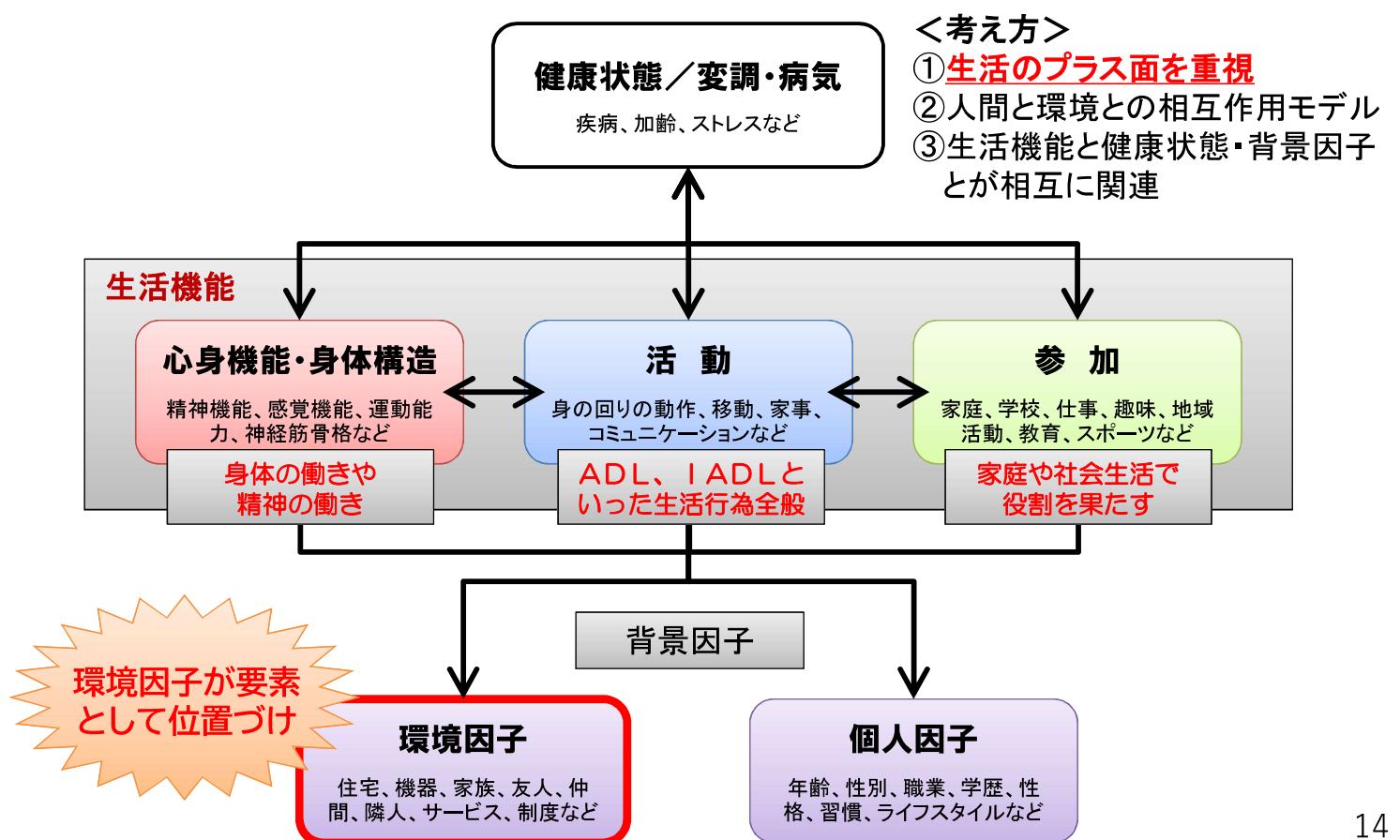
12



では、これはらの工夫例は、単なる発想や
思いつきなのでしょうか？

13

ICF(国際生活機能分類) WHO 2001



14

「できること探し」が得意なOT

○日常生活の中で、本人ができること(できそうなこと)を探そう(課題解決型)

これまでしてきた生活状況を踏まえながら、本人ができること(できそうなこと)を探してみよう。できないこと探しが中心になっていませんか?

「できること探し」は、生活行為を分解して考えていくことが大切。

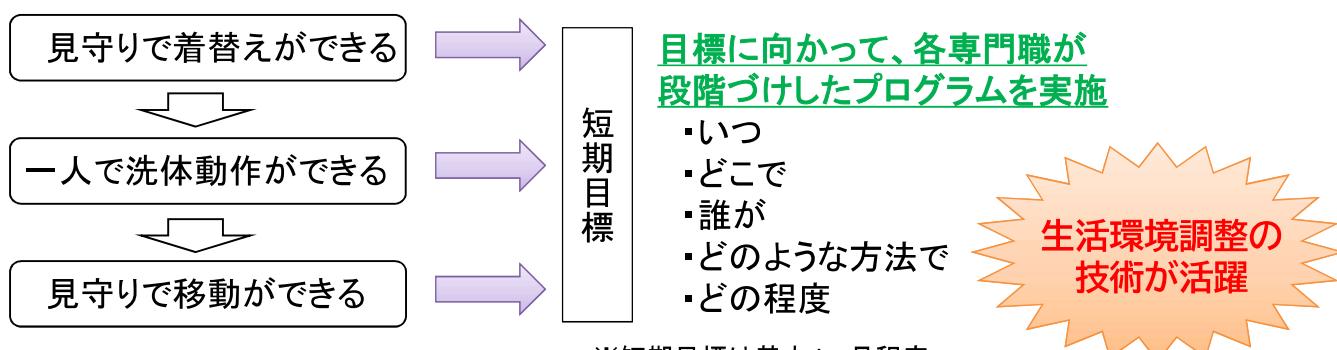
例:お風呂に入れない → タオルに石鹼をつけて体を洗うことはできるかも

どこに課題があるのだろうか 手すりをあれば、移動は少しずつ上手くなるかも
という思考が必要!!

○それをどのようにして(どのような段階を踏んで)達成していくのか整理しよう

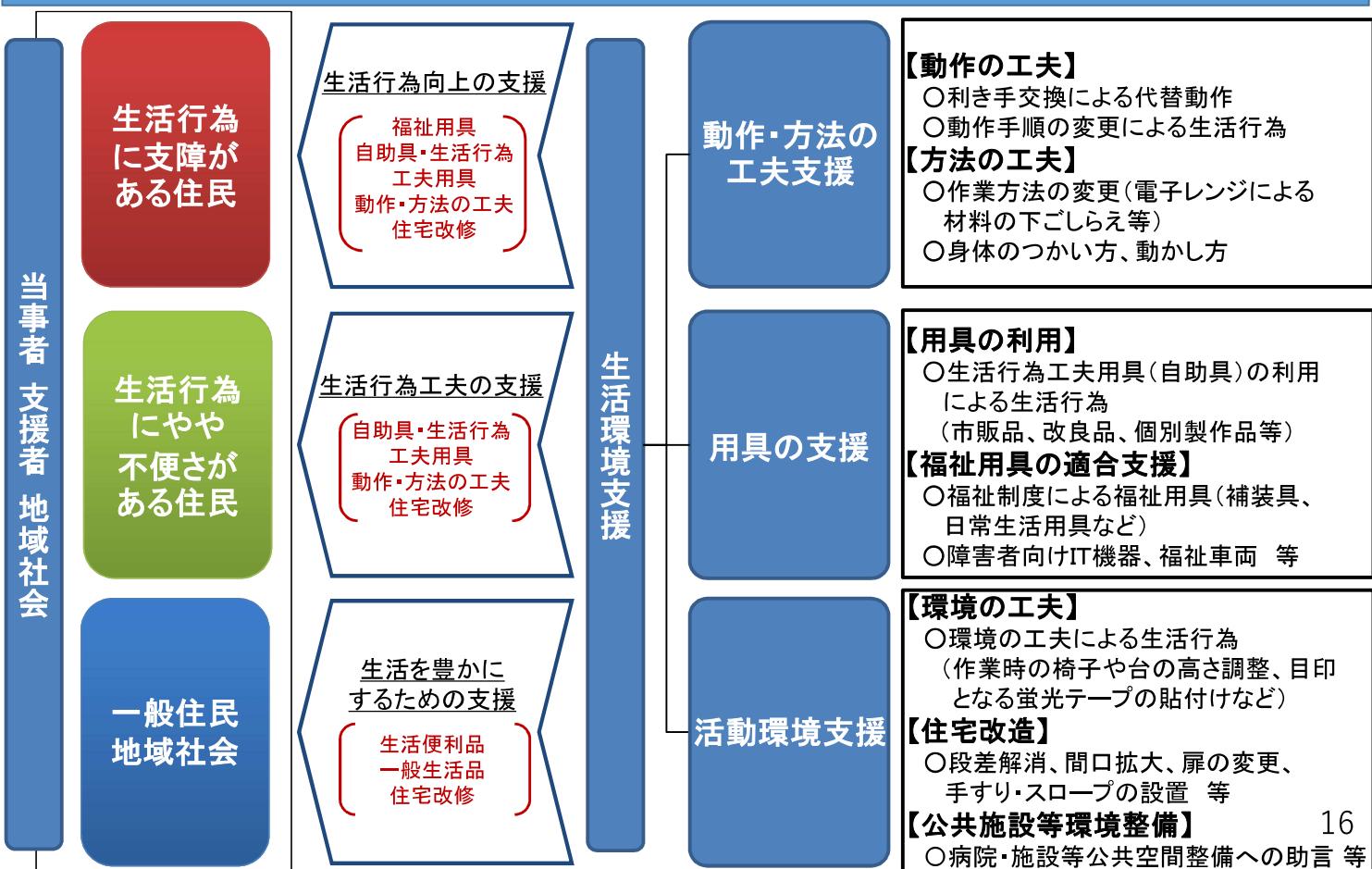
「どのようにして達成していくのか」「どのようなレベルまで達成できそうなのか」は、専門職の技術の見せどころ。(見通しの把握)

例:自宅で一人でお風呂に入れるようになる → 生活目標



15

作業療法士による心身機能の評価・機能訓練指導に基づく生活環境支援



16



それでは、どのような事例が登録されているか
見てみましょう！

17

**調理・電子レンジ操作の工夫
(認知症 機械が苦手な高齢者)**

電子レンジのボタンが多くて、どれを押せばよいか分からぬ
方に対して、不要なボタンを隠す(市販品の改良)

認知症や機械音痴の高齢者の方が、電子レンジのボタンをどれを押せばよいか分からぬので、不要なボタンをビニルテープなどを張って、隠すようにすることで迷わずにボタンを押して弁当などをあたためるようになった。

【利用者・家族の声】
あたたかい弁当が食べられるようになった。



工夫前の電子レンジのパネル



不要なボタンを隠した状態

心身機能・構造の特徴

認知能力の低下など

活動・参加の制限の特徴

工夫したポイント

電子レンジのボタンが多くて、どのボタンを押せばよいかわからずには混乱していたため、【あたため】【取り消し】ボタン以外のボタンの部分にビニルテープを張って隠した。

**利用上の留意点
(注意点、デメリット等)**

そのほかのボタンが見えなくなるため、もし必要時があるときは押せなくなる。

同居者がおり電子レンジを兼用する場合は、プラスチックで専用パネルを作成し取り外しできるようにするなどの工夫も検討することがよい。

使用した製品

商品名(材料名)

ビニルテープ

備考

テープのみでは誤操作リスクがある場合は、段ボールなどで下地を作りマスクすると良い。

18

更衣・ファスナー操作の工夫 (脳卒中 片麻痺)

上衣ファスナー操作が困難な脳卒中片麻痺患者の方に、
上衣固定ベルトを用いた事例(市販品の改良)

脳卒中片麻痺患者の方が、上衣のファスナー操作時に、「左手が全く使えないで、時間がかかるってしまう」と困っていたので、コーティングクリップ・カバン用ショルダーベルト・アンクルベルトで作成した上衣固定ベルトを提案・実践した結果、片手で上衣のファスナー操作が容易になった。

【利用者・家族の声】
ファスナーが閉め易くなった



心身機能・構造の特徴	片側の上肢・手指(Br,stage 左上肢V 左手指Ⅱ)の機能障害
活動・参加の制限の特徴	上衣のファスナーを閉める動作が、一人で行うのに時間を要していた。
工夫したポイント	ファスナーの下止を、クリップ固定することで、片手でのスライダー操作が容易になった。
利用上の留意点 (注意点、デメリット等)	ファスナーの下止固定位置が適正でないと、スライダー操作時に、クリップ固定が外れる可能性がある。
使用した製品	コーティングクリップ、カバン用ショルダーベルト、アンクルベルト
入手先・価格	100円均一店 324円
備考	

19

更衣・ボタンの工夫 (脳血管障害 片麻痺)

着たい服が着れずに困っている片麻痺の方にボタンを工夫した事例(市販品)

片麻痺に加え、非麻痺側の筋力低下がある人が、自分で服のボタンをとめることができず困っているので、ボタンをマグネットタイプの物を用いることを提案し、当事者が実践したところ、その動作ができるようになった。

【利用者・家族の声】
「嬉しい」と言葉がありました。



マグネットボタンをつけた状態

心身機能・構造の特徴	片麻痺、感覚障害、握力の低下
活動・参加の制限の特徴	着たい服のボタンを自分でとめることができず、着る機会が減っていた。
工夫したポイント	握力低下により、服のボタンをとめることができなかつた為、マグネットのボタンをつけた。
利用上の留意点 (注意点、デメリット等)	マグネットのボタンの付け方は、説明書に書かれている。ジージャンなど、厚手の服の場合は、磁石の力が効くかチェックが必要。
使用した製品	マグネット式ボタン
入手先・価格	手芸用品店 1,650円
備考	片麻痺に限らず、手指の握力や巧緻性が低下しボタン操作が難しくなった方に有用。

20

更衣・靴履きの工夫 (脳梗塞 片麻痺)

靴が自力で履けずに困っている脳梗塞の方に靴の踵に工夫をした事例(市販品)

脳梗塞右片麻痺の状態の人が、靴履きができず困っているので、靴の踵の部分にリングをつけることを提案し、当事者が実践したところ、その動作ができるようになった。

【利用者・家族の声】

これがあるだけでぜんぜん違うので驚きました。



心身機能・構造の特徴	右片麻痺
活動・参加の制限の特徴	食事・排泄・入浴・更衣・整容・屋内の移動は環境が整っていれば自立できています。しかし、椅子に腰掛けた状態で、前かがみの姿勢を保って、足先に手を伸ばす動作が安定しません。
工夫したポイント	材料を購入しなくても身边にあるもので作成しました。
利用上の留意点 (注意点、デメリット等)	踵部分まで手が届かない方には使用できません(延長フックなどの工夫が必要)。
使用した製品	商品名(材料名) キーホルダーのリング
入手先・価格	
備考	

靴を履く工夫 (関節リウマチ)

関節リウマチなどで足元までのリーチ制限があり自己操作で靴が履けない方に靴べらを用いた事例(市販品の改良)

足元まで手が届かないで靴がうまく履けません。自宅では長めの市販の靴べらを使用していますが、外出時には長めの靴べらは持ち歩けないし、携帯用の靴べらだと小さくて指の変形が有りつまみにくく使いにくいです。何か良い方法はありませんか?との相談に対して、鞄内に収められる大きさで、外出先で使用の際には長くできるように、市販の携帯用靴べらを折りたたみブラシを用いて折りたたみ式に改良した。

【利用者・家族の声】

利用者より「持ち運びやすく、伸ばす操作が簡単で出先でも靴を履くことが楽になりました。」とご満足いただけた。



- ①折りたたみブラシと携帯用靴べら
- ・折りたたみブラシのブラシ部分をすべてカット
- ・靴べらに4箇所、折りたたみブラシに各2箇所ボール盤で穴を開ける
- ・プラスチックなベネジ4本で固定する



- ②靴べらを把持せず足を挿入



- ③ロングサイズでの使用

使用時に折りたたまれたBeraBeraバーを伸ばし靴に差し込み足を挿入する。
靴べらを踵部から挿入できない場合は、折りたたんだまま靴の側方の縁にBeraBeraバーを挟み足を挿入する方法も可能。出先で伸ばして使用できるように2個の携帯用靴べらを折りたたみブラシで接続し折りたたみ式に加工。17.5cmから37.5cmへと伸ばせる。

心身機能・構造の特徴	関節リウマチによる可動域制限
活動・参加の制限の特徴	
工夫したポイント	折りたたみブラシを使用した折りたたみタイプ。 基本形態は従来の携帯用靴べらであるが、外出先で長い靴べらとしても使える。
利用上の留意点 (注意点、デメリット等)	靴を履く際に靴べらが必要な場合
使用した製品	商品名(材料名) 折りたたみくし 靴べら
入手先・価格	100円ショップ 300円程度
備考	

整容・髪留めの工夫 (脳血管障害)

髪の毛を結ぶのに困っている右片麻痺の方に片手で止められる髪留めを用いた事例(個別製作品)

脳出血(右片麻痺)により日常生活を左手で生活している方が髪の毛を結ぶことで困っており、片手で留められる髪留めを用いることを提案した。その後、動作練習を行い、髪の毛を自分で結ぶことが可能となった。

【利用者・家族の声】

指を大きく開くのが難しいけれど、練習すれば出来そう。

練習後では、お風呂上りにこれで邪魔にならなくなつた。



指で髪の毛を集めているところ

髪留めをとめようとしているところ

髪留めを指につけた状態

心身機能・構造の特徴	運動麻痺は軽度だが重度の感覚障害や協調性の低下により、手を伸ばしたときに揺れてしまう。また、高次脳機能障害として注意機能低下や失行を認める。
------------	--

活動・参加の制限の特徴	片麻痺、感覚障害、協調性の低下の影響により麻痺側での結髪動作困難。左腕においても失行の影響により、目の見えない場所での複雑な動作困難。
-------------	---

工夫したポイント	類似品では今回作成したもののボタンバージョンやフックバージョンなどあるが、複雑な動作が難しいため今回は磁石を使用して作成した。また、指を入れる場所も調整が行えるようにマジックテープを使用した。
----------	--

利用上の留意点 (注意点、デメリット等)	強力な磁石のため、指先の力が弱い場合には、間違えてとめた後にやり直しをすることが難しい。ゴムのサイズが一定のため、髪留めが少しうるさい。
-------------------------	--

使用した製品	商品名(材料名) 片手で行える髪留め(作品名) 布/スナップボタンまたはマグネットボタン/ヘアゴム/手縫い糸 入手先・価格 100円均一ショッピング 500円
--------	--

備考	市販の髪留めゴムの輪をハサミできり、両端に指が入るように布を取り付けた。布にはマグネットボタンを取り付け、輪同士を近づけると磁石で引っ付くようにした。 23
----	---

移動・移動経路の工夫 (高次脳機能障害)

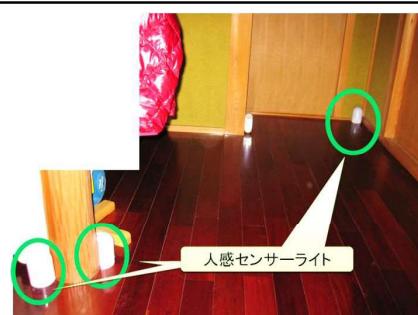
トイレまでの方向が分からずに困っている高次脳機能障害の方に、人感センサーのライトを活用して経路を分かりやすくした事例(市販品)

頭部外傷による高次脳機能障害で記憶障害と地誌的障害を有している方が、退院先の家族の家で夜間の暗い状態においてトイレまでの方向が分からず困っていた。そこで、トイレまでの道のりを人感センサーのライトを配置して分かりやすくしたことで、当事者が迷わずにトイレまで行けるようになった。

【利用者・家族の声】

パッと進む道が分かっていい。照明をつけるスイッチの位置も分かりづらいから、自動で光るのがうれしい。

(家族)夜中寝ていたら、母がドアを開けてびっくりすることが多かつたが、今はほとんど間違うことなくトイレへ一人で行けるようになった。



人感センサーライトを設置した状態



・夜間は暗く、視覚的に方向が分からぬ。
・記憶障害と地誌的障害により、道順をイメージできない。

心身機能・構造の特徴	記憶障害、地誌的障害(自身の位置や移動先の方向が分からない)
------------	--------------------------------

活動・参加の制限の特徴	退院先が自宅ではなく、娘の家であった。そのため、部屋の位置関係が分かりづらく、記憶障害および地誌的障害によって、夜間の暗い時はトイレまでの道順が分からなかった。それにより、トイレにたどり着くまで、家のドアを開けてしまい、本人だけでなく家族も困っていた。
-------------	--

工夫したポイント	本人が部屋から出た時点で一つ目の人感センサーライトが反応するように位置を設定した。
----------	---

利用上の留意点 (注意点、デメリット等)	本事例は歩行能力には大きな問題がなかったため、道順を示すだけで良かった。 設置場所については、家族と協力し、実際の場面で試験的に試みながら検討していくことが必要。 センサー部にテープを貼付したり円筒を付けるなどで、センサー角度をある程度コントロールすることができる。
-------------------------	---

使用した製品	商品名(材料名) 人感センサーライト(赤外線ライト) 入手先・価格 ホームセンター 980円
--------	---

備考	
----	--

移動・扉の開閉の工夫 (廃用症候群)

方向転換せずに開き戸を締める簡単装置(個別製作品)

高齢でインフルエンザが悪化し入院。廃用症候群を呈した方が、退院後は自宅で歩行器を使っての生活となった。

歩行器を使っているため、開き戸を押して開けるときはそれほど問題にならないが、閉める時には後方のドアノブに手が届かない。閉める時に方向転換をして戻ってから開き戸を閉めなければならず、手間がかかり、開けっ放しにしていることが多かった。季節が冬になり、戸を開けっ放しにすると寒いので閉める必要があるが、動作が大変を感じていた。

開き戸が簡単に閉められる方法を考え考案した。事例も現在は楽に閉められて助かっているとのこと。

【利用者・家族の声】

扉を開けるのは良いけど、閉める時には戻らないといけないし、開き戸のノブに手が届きにくかった。ロープを引っ張るだけで閉められるので楽になった。力がいると思ったけど、力もそれほどいらないので良かった。



壁にラップの芯を張り扉にロープを張り、ロープをラップの芯に通して垂らしています。

開き戸を締めるのに方向転換をして戻って締めていましたが、ロープを下方へ引っ張れば扉が締められます。

ロープなのでラップの芯との摩擦が少なく、少ない力で引っ張れます。

心身機能・構造の特徴	小柄で円背。自宅内で歩行器により歩行自立。独歩で転倒歴あり。	
活動・参加の制限の特徴	進行方向と反対方向に開き戸が開く際、方向転換して戻らないと戸を閉めることができず転倒のリスクあり。そのため冬でも戸を開きっぱなしにしており、寒いので困っていた。	
工夫したポイント	安価で簡単に作成できる。疾患を問わない。	
利用上の留意点 (注意点、デメリット等)	布ガムテープで止めているので、見た目を気にする方には不向き。固定性を高める場合は、金具(ヒートン等)を用いる。ガムテープをはがす時に壁紙が一緒にはがれないかなど、壁紙の材質の確認をする必要あり。	
使用した製品	商品名(材料名)	縄跳び(縄がロープのもの)
	入手先・価格	ホームセンター等 500円程度
備考		

25

その他・スマホ操作の工夫 (脊髄空洞症)

片手でのスマートフォン操作が行いにくいことで困っている方に、ドアノブを用いて握りやすくした事例(市販品の改良)

片手のみでのスマートフォン操作が困難な方に対して、ドアノブと吸盤を取り付け握りやすくし提案したところ、片手でのスマートフォン操作が容易となった。

【利用者・家族の声】

スマートフォンの操作中に落とすことが少なくなり、操作がやり易くなった。友人とのメールも打ち込みやすい。



用具の外観



スマートフォンに取り付け使用している場面

心身機能・構造の特徴	左肘のシャルコー関節により、左手で持ったり支えたりすることが出来ない	
活動・参加の制限の特徴	スマートフォン操作をする際に、スマートフォンのサイズが大きく、右手で支えながら画面操作を行いにくい状態で困っている。	
工夫したポイント	ドアノブを吸盤で取り付けたことで、付け外しが可能であるところ。	
利用上の留意点 (注意点、デメリット等)	吸盤の劣化により、吸着力が弱くなる可能性があるため、定期的なチェックが必要。	
使用した製品	商品名(材料名)	ドアノブ、吸盤
	入手先・価格	100円ショップ 各100円
備考	スマートフォンの背面に取り付けるリングも市販されているため、比較検討すると良い。	

26

その他・開封作業の工夫 (脳血管障害)

片手ではさみを使って封を切りやすくする工夫(市販品)

片麻痺のため、手紙などをはさみで開封する際に固定が難しかったが、吸盤での固定を提案したところ、片手でできるようになった。

【利用者・家族の声】

安価・小型で手軽に使えると思いました。



用具の外観



手紙を切れ目に差し込んで固定し、
片手でハサミで切ることができます。

心身機能・構造の特徴	片麻痺
活動・参加の制限の特徴	
工夫したポイント	製品は100円均一で購入した「包丁研ぎ」用であったが、小型で吸盤つきであったため、壁などに垂直に設置して手紙などを差し込み固定可能であり、片手動作に有効と考えた。
利用上の留意点 (注意点、デメリット等)	差し込む物が厚い場合は差し込みが難しい。柔らかい物については、折り曲げた紙にはさむと良い。
使用した製品	商品名(材料名) 包丁研ぎ器
	入手先・価格 100円ショップ 108円(消費税込)
備考	

27

同じ道具でも様々な使い方

ID:329 嘔下機能の低下によりコップでの飲水時にムセてしまうパーキンソン病の方に、シリコンコップを用いてコップに傾斜をつけて飲みやすくした事例



同じ道具を異なる 用途で使用



ID:234 野菜を切るときに押さえが効かず困っている、片側に麻痺のある方に、シリコンコップを用いた事例



28

同じような道具の操作を異なる手段で情報制御

ID:837 ボタン操作方法が変わったため、電子レンジの使い方がわからず使えなくなった事例



ID:211 電子レンジのボタンが多くて、どれを押せばよいかわからない方に対して、**不要なボタンを隠す**



29

様々な加工方法(野菜の切断)

ID:1565 包丁をしっかりと握ることが出来ない関節リウマチによる屈曲制限がある方に**滑り止めマット**を用いて太柄にした事例



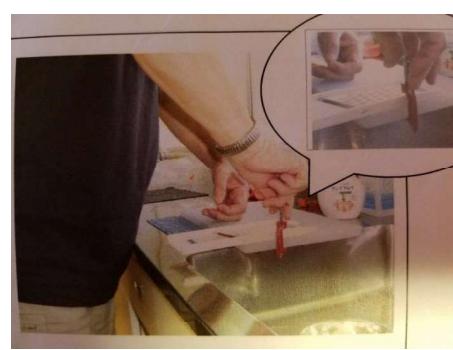
ID:515 握力が弱く包丁を把持できない方に**市販のチョッパー**を工夫した事例



ID:726 野菜を細かく切るのに困っている左片麻痺の方に**みじん切り器**を導入した事例



ID:940 包丁の柄を母指で押し付けることが困難となったが、**柄の幅を広げる自助具**を作成したことで再獲得に繋がった事例



ID:855 炊事で**スライサーの固定**で困っている片麻痺の方に工夫した事例

30

様々な加工方法(野菜の固定)

ID:632 釘付きまな板上で切った食材をまとめて鍋やフライパンに移すことに困難を要していた方へのまな板シートを用いた事例



ID:702 包丁操作時の固定ができず困っている左片麻痺の方に簡易的な道具を用いて工夫した事例



ID:810 野菜がうまく切れないで困っているパーキンソン病の方に、一人で野菜が切れるようトマトスライスホルダー（市販品）を用いた事例

ID:234 野菜を切るときに押さえが効かず困っている、片側に麻痺のある方に、シリコンカップを用いた事例



31

様々な洗浄方法(食器洗い)

食器の固定

ID:368 片手で食器を洗うのに困っている脳梗塞・左片麻痺の方にタコキヤッチを用いた事例



スポンジの固定

ID:529 片手で調理器具を洗う自助具



32

生活行為工夫事例集



作業療法士が提案する
自立(律)に導く生活行為の工夫事例集

一般社団法人 日本作業療法士協会

作業療法士への事業広報及び多職種へのOT技術の周知を図る目的に、登録事例を抜粋し事例集の作成を行いました。

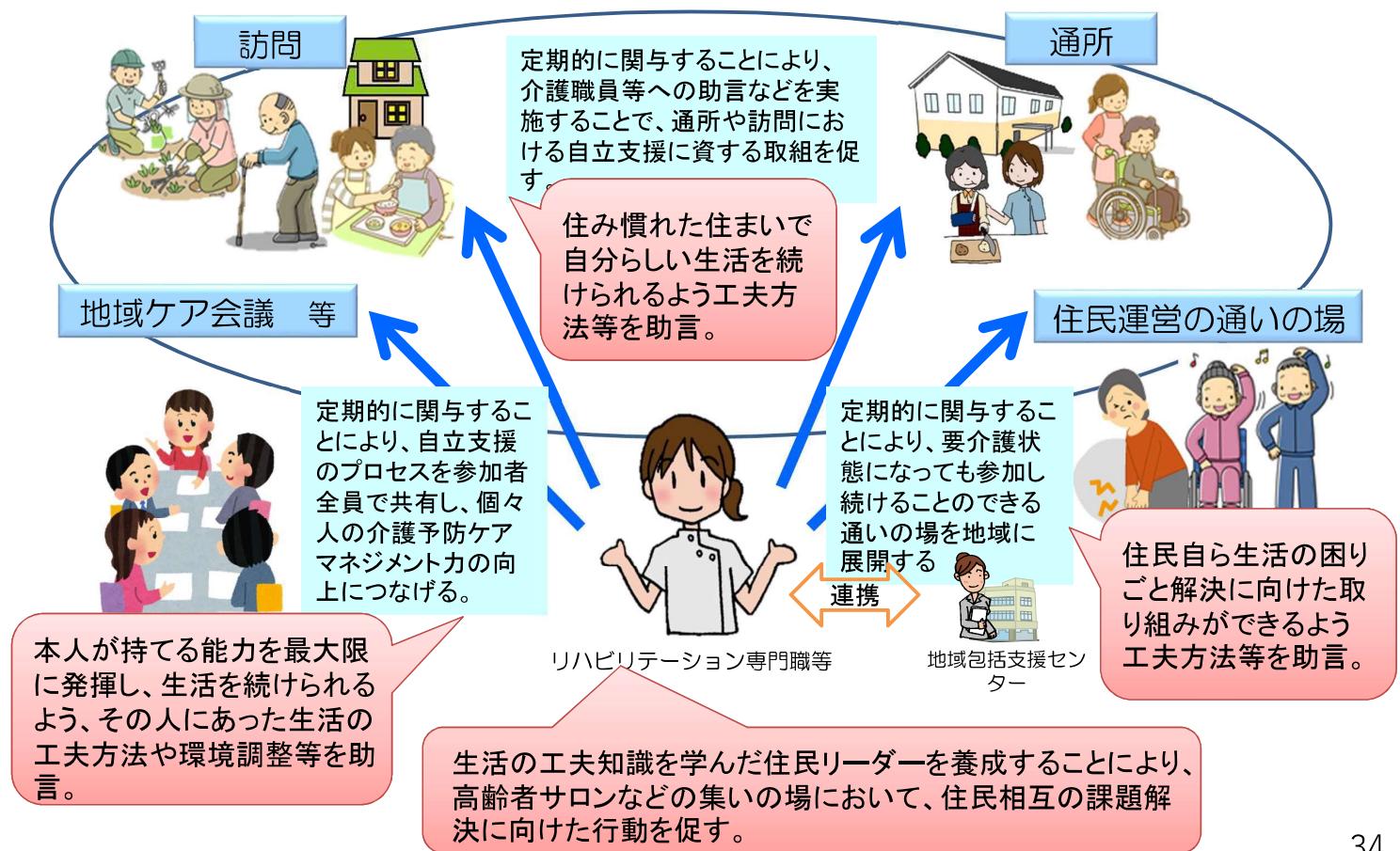
○2016年度 20事例
○2019年度 44事例

利用上の注意点

- 本事例については、作業療法士が当事者のニーズや状態に応じて行った支援の中から、生活行為工夫に関する事例をご紹介したものです。
- このため、本事例を活用する際には、一人ひとりの状態像応じて何が最も適切なのかを見極め、リスク等を考慮した上で、個別に対応する必要があります。
- ぜひ、作業療法士に相談していただいた上で、ご活用いただくようお願いいたします。

33

生活行為がしづらくなった方への課題解決方法等の周知イメージ(参考)



34

- 生活行為工夫に関する基礎研修の開催
 - ・ 工夫支援の考え方、グループワーク等
- 自助具製作体験会の開催
 - ・ 器具の使い方、加工演習等
- 生活行為工夫コンテストの開催
 - ・ 事例表彰
- 他職種向け広報・研修等の開催
 - ・ 生活行為工夫研修の開催、地域ケア会議での広報等
 - ・ 生活行為工夫パンフレットの作成
 - ・ 相談窓口の設置
- 当事者向け広報・研修等の開催
 - ・ 自治会、高齢者サロン等での研修の開催
 - ・ 生活行為工夫パンフレットの作成
 - ・ 相談窓口の設置
 - ・ 生活行為工夫支援ボランティアの育成

35

活動に参加しませんか？

- 我々作業療法士は、当事者への支援を行う中で、日頃から、機能訓練をはじめ、動作方法の指導や道具の工夫、福祉用具、環境調整など、様々なアプローチを行っています。
- その日頃から行っている技術を形にして、皆で共有しませんか。
(本事業は情報共有のためのシステムです。今後、様々なコンテンツを充実させていきます。)
- そして、作業療法士の技術を必要とする地域の方々へ届けて行きませんか。

36

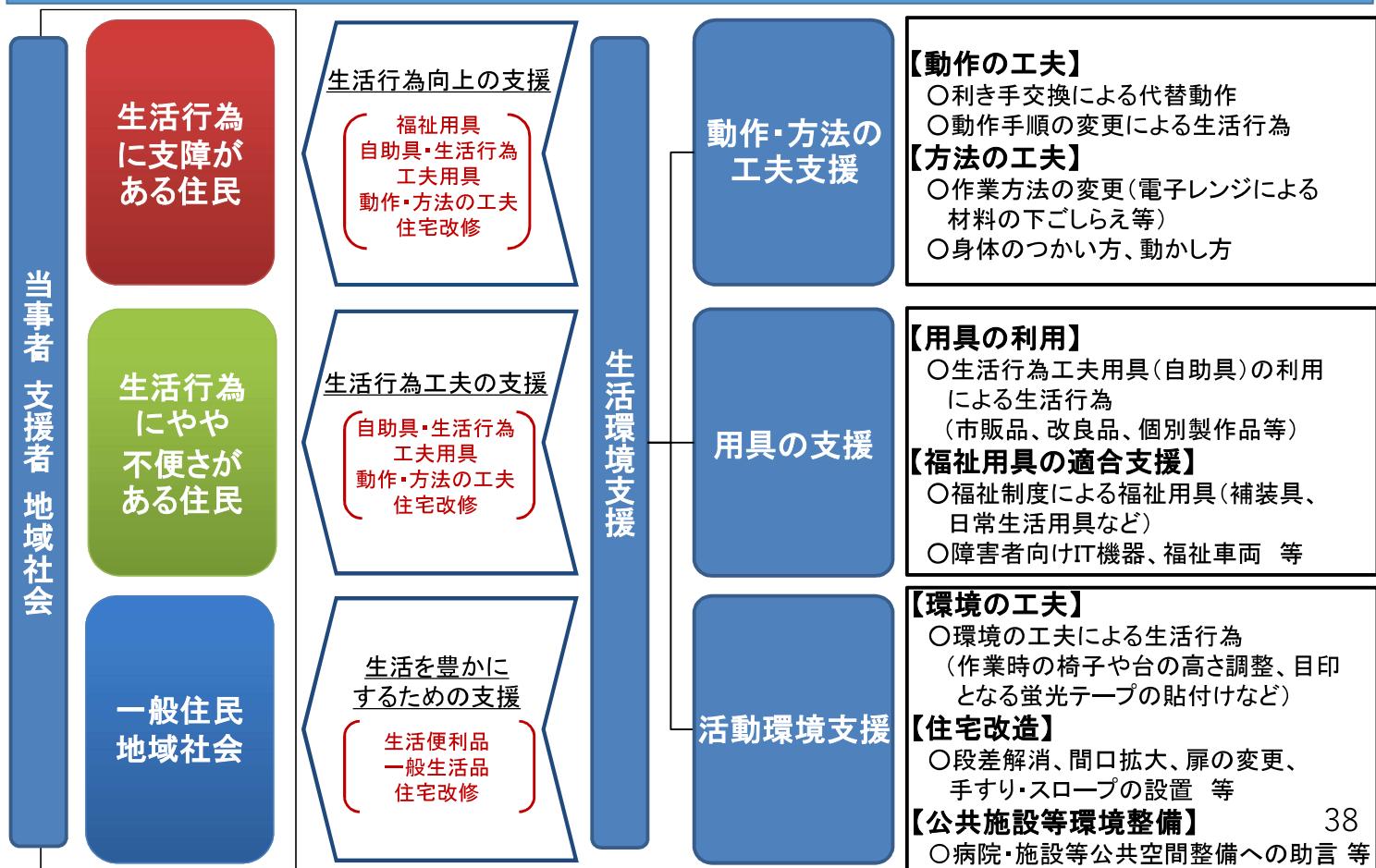
生活行為工夫情報事業の紹介

(士会向け事業説明資料)

2022年2月

生活環境支援推進室

作業療法士による心身機能の評価・機能訓練指導に基づく生活環境支援

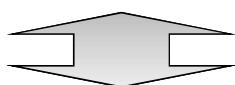


事業実施の背景・課題

- 地域包括ケアシステムを構築し持続的な社会保障サービスを提供していくためには、要介護高齢者に対し「生活行為のうち自分で出来る行為は出来るだけ自分で出来るよう支援すること」が重要。
- 現に、要支援者の多くは、廃用性症候群や骨・関節疾患等の原因によるものであり、基本的動作訓練や用具の利用、環境調整等によりIADLやADLの改善が図れる可能性が高い。しかし、適切な生活行為改善のための情報が行き届いていない。
- 作業療法士(OT)が持つ職責／ノウハウを活用し、広く当事者あるいは関係職種が利用しやすくなることで、当事者が自ら実施できることを増やし、延いては自立支援に寄与する。

【目指すべき姿】

当事者(要介護高齢者及びその家族)及びその支援を担うケアマネジャー等が、利用者の持つ潜在的な能力(可能性)を正しく認識し、生活行為の課題を解決し、出来る限り自分で出来る行為を増やすために、まず具体的に何ができるのかを知っている状態(エンパワメントされた状態)



【現状】

利用者本人が生活改善の可能性に気がつかず、受け身的な生活となり、生活機能の低下を招くきっかけになっている。

また、ケアマネジメントプロセスでも、当事者の有する能力の見通し(予後予測)が十分検討されず、現状に対してのサービス提供(お世話型)プランを生む要因となっている。

【課題】

目指すべき姿に近づけていくためには、作業療法士の職責を活用して、以下の課題への対策を実施していくことが有効

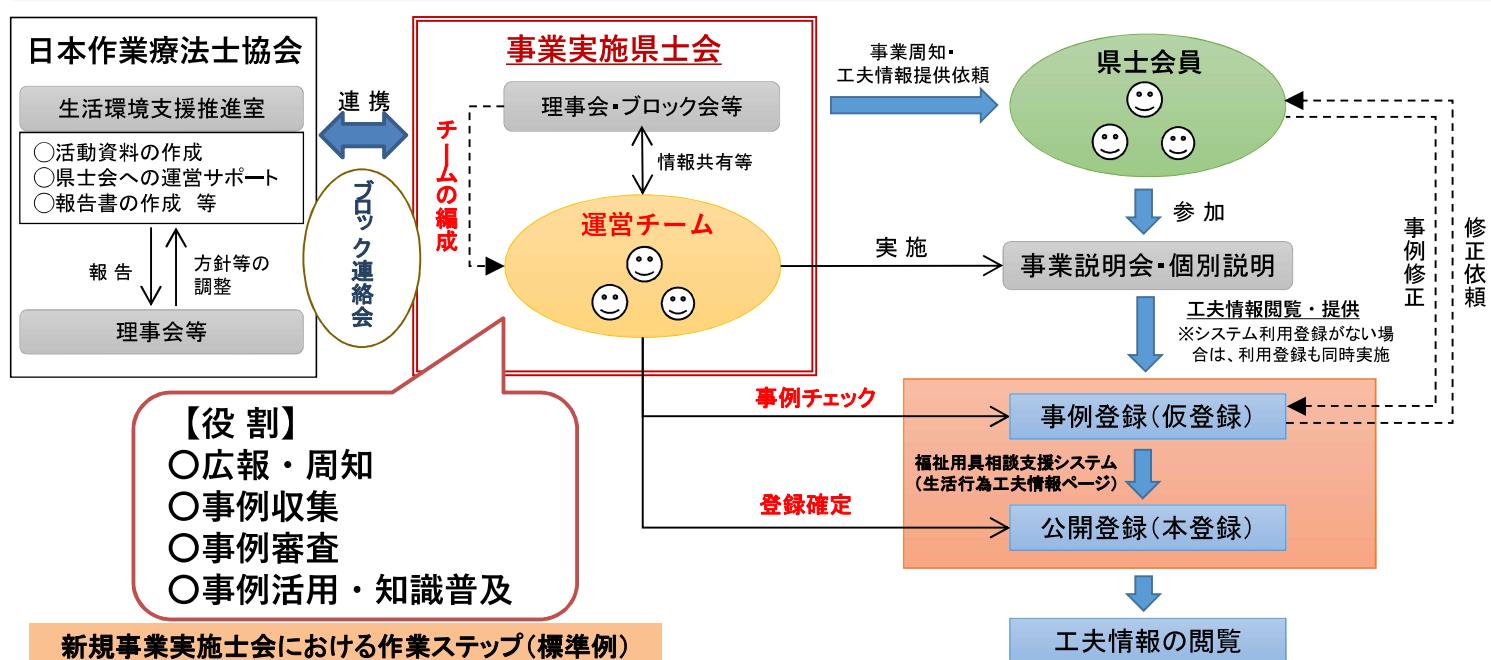
- ① OTが持つノウハウを集約し、当事者や関係職種が利活用できる仕組み(データベース)の構築
- ② アセスメントにおいて、生活改善の可能性を捉え、その人に合った生活行為の工夫が実施されるような多職種支援体制の構築

作業療法士による高齢者等の生活行為の 課題解決に向けた支援の実施 (職種としての責務を果たす)

※作業療法士は、その本人の有する能力が生活に活かされるよう、基本的訓練や動作方法の工夫、用具の利用、環境調整など、一人ひとりの生活全般を捉えた支援、いわゆる生活行為マネジメントを行うことを得意とする職種

39

事業の流れ



【ステップ1】運営体制の構築(5～6月)

- 運営メンバーの選定
 - ・5～10名
- 事業説明会の準備
 - ・会場の設定
 - ・実施方法の検討
- 県士会広報・周知
 - ・理事会等での広報・周知体制づくり
 - ・会員への参加依頼

【ステップ2】事業の広報・周知(7～8月)

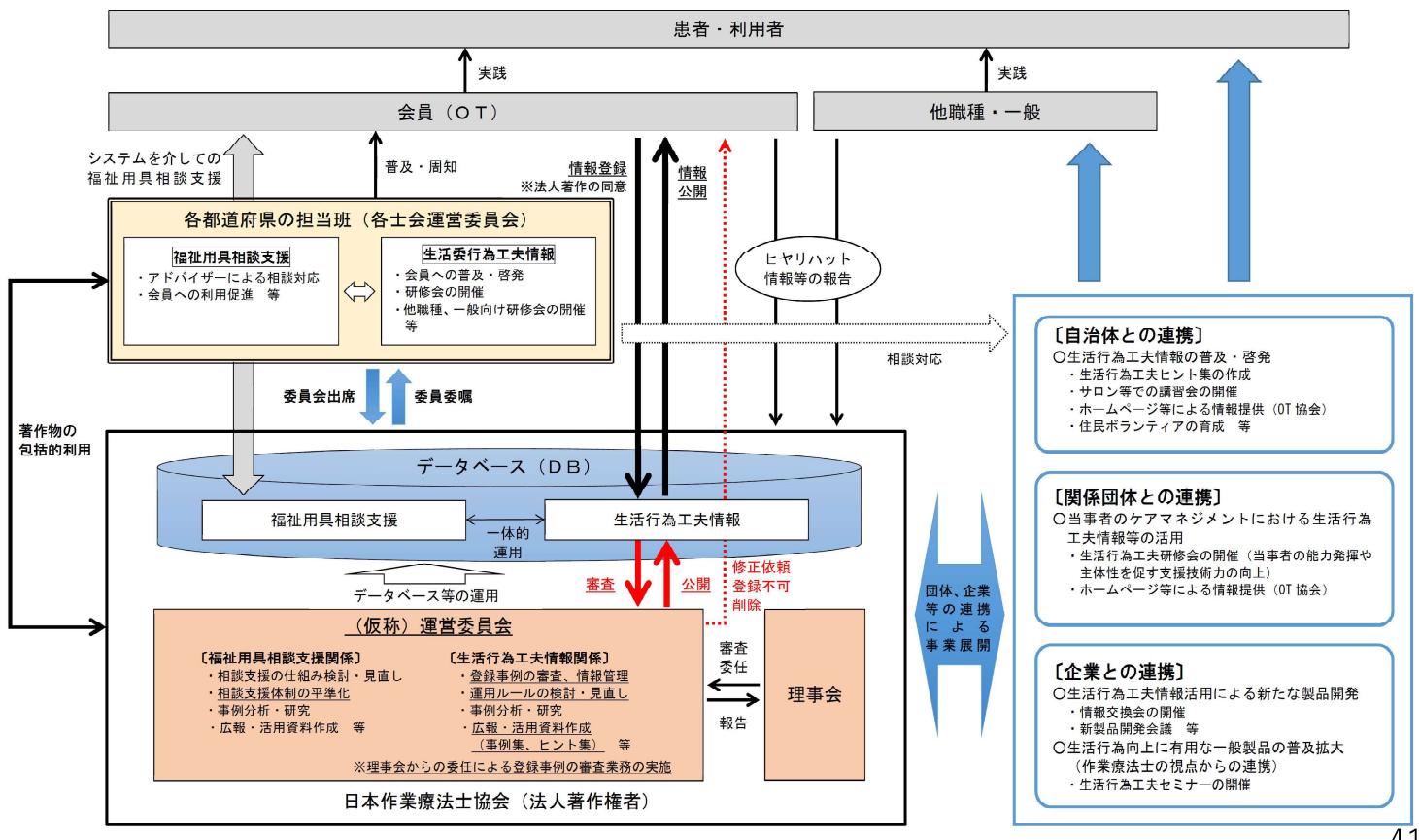
- 事業説明会の実施
 - ・事業説明・参加依頼
 - ・質問等への対応
- 個別対応
 - ・必要に応じて個別での事業説明

【ステップ3】事例集約(9月～)

- 工夫情報登録状況の確認
 - ・必要に応じて登録の促し
- 工夫情報内容チェック
 - ・内容のチェック
 - ・必要に応じて内容修正の依頼
 - ・登録の確定
- その他
 - ・アンケート調査の実施(システム利用)

40

事業スキーム



41

事業実施経過

- 前頁の課題を解決していくため、当協会では「生活行為工夫情報モデル事業」を2016年度から実施。2020年度までの5ヵ年でOTが持つノウハウを集約・共有する仕組みの検討を終えたところ。
- 2021年度からは、この仕組みを具体化していくため、データベースを全国的に構築するとともに、当事者及び関係職種がこれらの情報を活用していくためのツール作成や研修等を行い、生活行為工夫情報の普及・啓発を進めていく予定。（特に、要支援者向けの一般介護予防施策として効果が期待される。）

	2016～2018年度	2019年度	2020年度	2021年度～
ノウハウを集約し事例活用できる仕組み(DB)の構築	<p style="text-align: center;">モデル実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○試行実施（2ヵ所） ○モデル実施（8ヵ所） ○モデル実施（11ヵ所） ○モデル実施（17ヵ所） <p>○データベースの構築 ○法的整理・実施体制の確立</p> <p>○事例活用の検討 ○ビジネスモデルの検討</p>			<p style="text-align: center;">本格実施</p> <p>○全国への展開 ○住民・関係職種への情報提供基盤の構築</p> <p style="border: 2px solid red; padding: 5px;">2021年度実施（26ヵ所）</p>
当事者・関係職種支援体制の構築				○関係職種・住民への情報提供の実施 等

42

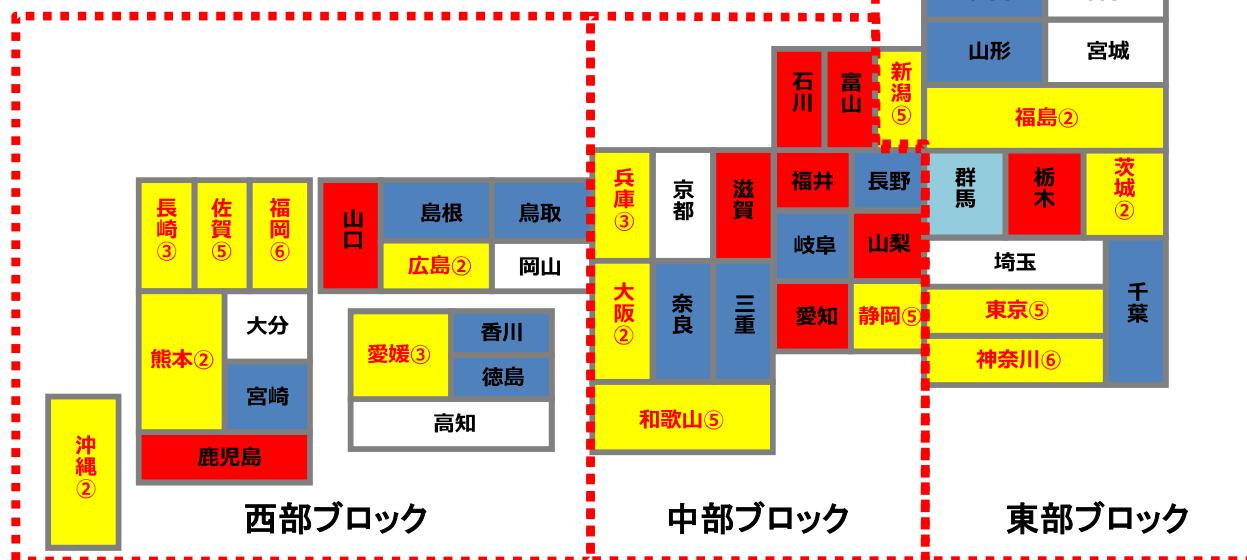
2021年度 生活行為工夫情報 士会参画状況

2022年2月1日時点

※区割りについては、状況に応じて変更する事があります。

**福祉用具相談支援システム参加県士会
39士会（新規参加1士会）**

**生活行為工夫情報モデル事業参加県士会
26士会（新規参加9士会・赤色部分）**



43

事例登録状況

<登録件数> (2016～2020年度)

1,320件

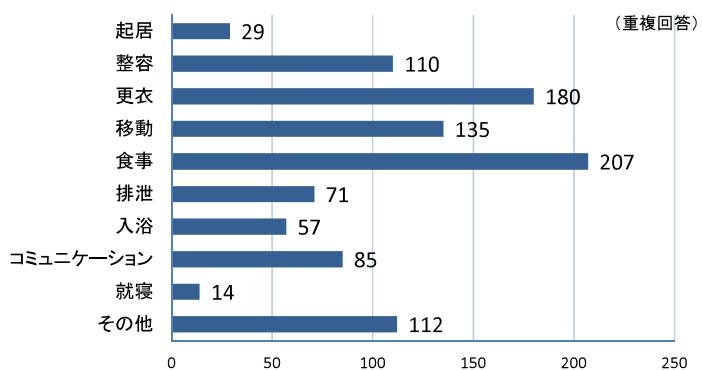
<事業実施士会>

全国26カ所

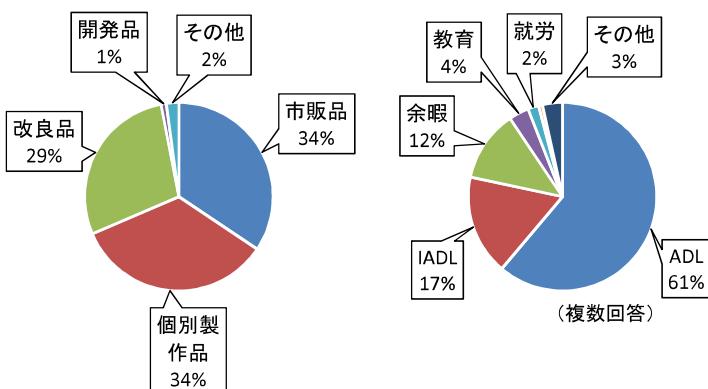
北海道、福島、茨城、栃木、東京、神奈川、
新潟、富山、石川、福井、山梨、静岡、
愛知、滋賀、大阪、兵庫、和歌山、広島、
山口、愛媛、福岡、佐賀、長崎、熊本、
鹿児島、沖縄

活動の種別状況

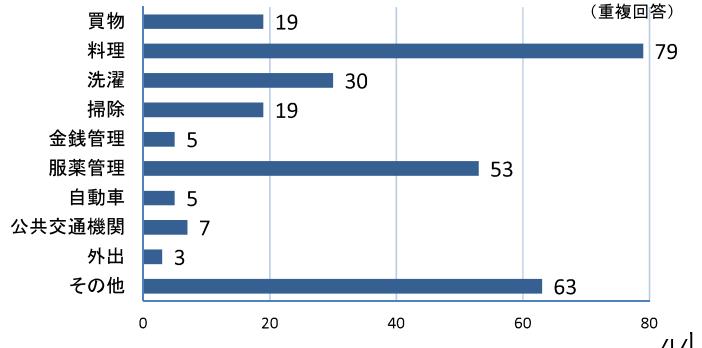
<ADL>



用具・活動の種別状況



<IADL>



44

福祉用具相談支援システム

[ホーム](#)[掲示板](#)[情報・資料](#)[お知らせ](#)[アンケート](#)[事務局](#)[ログアウト](#)



初回相談

福祉用具のことで困りごとはありませんか？初回相談からご相談ください



相談掲示板

投稿された相談は、相談掲示板でアドバイザーが親切・丁寧に対応いたします！



相談サマリー

皆様から寄せられた相談の一部を紹介しています。
詳細はお問い合わせください



モデル事業

OTの知恵を大募集中です！ご協力をお願いいたします。



アンケート

アンケートへご協力ください。



資料

生活行為工夫情報モデル事業の資料はこちら



お役立ち通信はこちら

45

福祉用具相談支援システム

[ホーム](#)[掲示板](#)[情報・資料](#)[お知らせ](#)[アンケート](#)[事務局](#)[ログアウト](#)

ホーム > 生活行為工夫情報 > 生活行為工夫情報サンプル

生活行為工夫情報サンプル一覧

- 過去に投稿された生活行為の工夫情報を閲覧することができます。
- 「サンプルID」もしくは「表題」をクリックすると該当記事の詳細ページに移行します。

登録件数: 44件

ID	表題	動作名	主な対象の方	用具種別
1	左手で箸を使用しラーメンを上手に食べることができない片麻痺の方へ	食事	片麻痺の方	市販品
2	スプーンなどの握りで困っている方に持ち手を工夫したスプーン	食事	不器用さのある方	個別製作品
3	両上肢の振戻が強く、スプーンで食事がすくいづらかった	食事	手の震えのある方	個別製作品
4	手の力が弱くスプーンの把持に苦慮していた方に、市販のスプーンを改良して工夫した	食事	手の力の弱い方	市販品
5	健側の袖のボタンをとめるのに困っている片麻痺の方に	更衣	片麻痺の方	市販品の改良
6	厚手のジャンパーが着れなくて困っていた左片麻痺の方に	更衣	片麻痺の方	市販品
7	着たい服が着れずに困っている片麻痺の方にボタンを工夫した	更衣	手の力の弱い方	市販品
8	片麻痺でチャックが締められない方が、クリップを使う工夫	更衣	片麻痺の方	市販品の改良
9	袖ボタン閉じで困っている片麻痺の方に用具を用いた事例	更衣	片麻痺の方	個別製作品
10	上衣のファスナーで困っている左片麻痺の方に用具を用いる工夫	更衣	片麻痺の方	個別製作品
11	妊娠中に靴下を履くのに困難が生じた方に用具を工夫した	更衣	妊婦の方	個別製作品

46

調理・電子レンジ操作の工夫 (認知症 機械が苦手な高齢者)

電子レンジのボタンが多くて、どれを押せばよいか分からぬ方に対して、不要なボタンを隠す(市販品の改良)

認知症や機械音痴の高齢者の方が、電子レンジのボタンをどれを押せばよいか分からぬので、不要なボタンをビニルテープなどを張つて、隠すようにすることで迷わずにボタンを押して弁当などをあたためるようになった。

【利用者・家族の声】
あたたかい弁当が食べられるようになった。



工夫前の電子レンジのパネル



不要なボタンを隠した状態

心身機能・構造の特徴	認知能力の低下など
活動・参加の制限の特徴	
工夫したポイント	電子レンジのボタンが多くて、どのボタンを押せばよいかわからぬに混乱していたため、【あたため】【取り消し】ボタン以外のボタンの部分にビニルテープを張つて隠した。
利用上の留意点 (注意点、デメリット等)	そのほかのボタンが見えなくなるため、もし必要時があるときは押せなくなる。 同居者がおり電子レンジを兼用する場合は、プラスチックで専用パネルを作成し取り外しできるようにするなどの工夫も検討することがよい。
使用した製品	商品名(材料名) ビニルテープ 入手先・価格 100円ショップ・ホームセンター 100円程度
備考	テープのみでは誤操作リスクがある場合は、段ボールなどで下地を作りマスクすると良い。

47

更衣・ファスナー操作の工夫 (脳卒中 片麻痺)

上衣ファスナー操作が困難な脳卒中片麻痺患者の方に、上衣固定ベルトを用いた事例(市販品の改良)

脳卒中片麻痺患者の方が、上衣のファスナー操作時に、「左手が全く使えないのと、時間がかかるてしまう」と困っていたので、コーティングクリップ・カバン用ショルダーベルト・アンクルベルトで作成した上衣固定ベルトを提案・実践した結果、片手で上衣のファスナー操作が容易になった。

【利用者・家族の声】
ファスナーが閉め易くなった

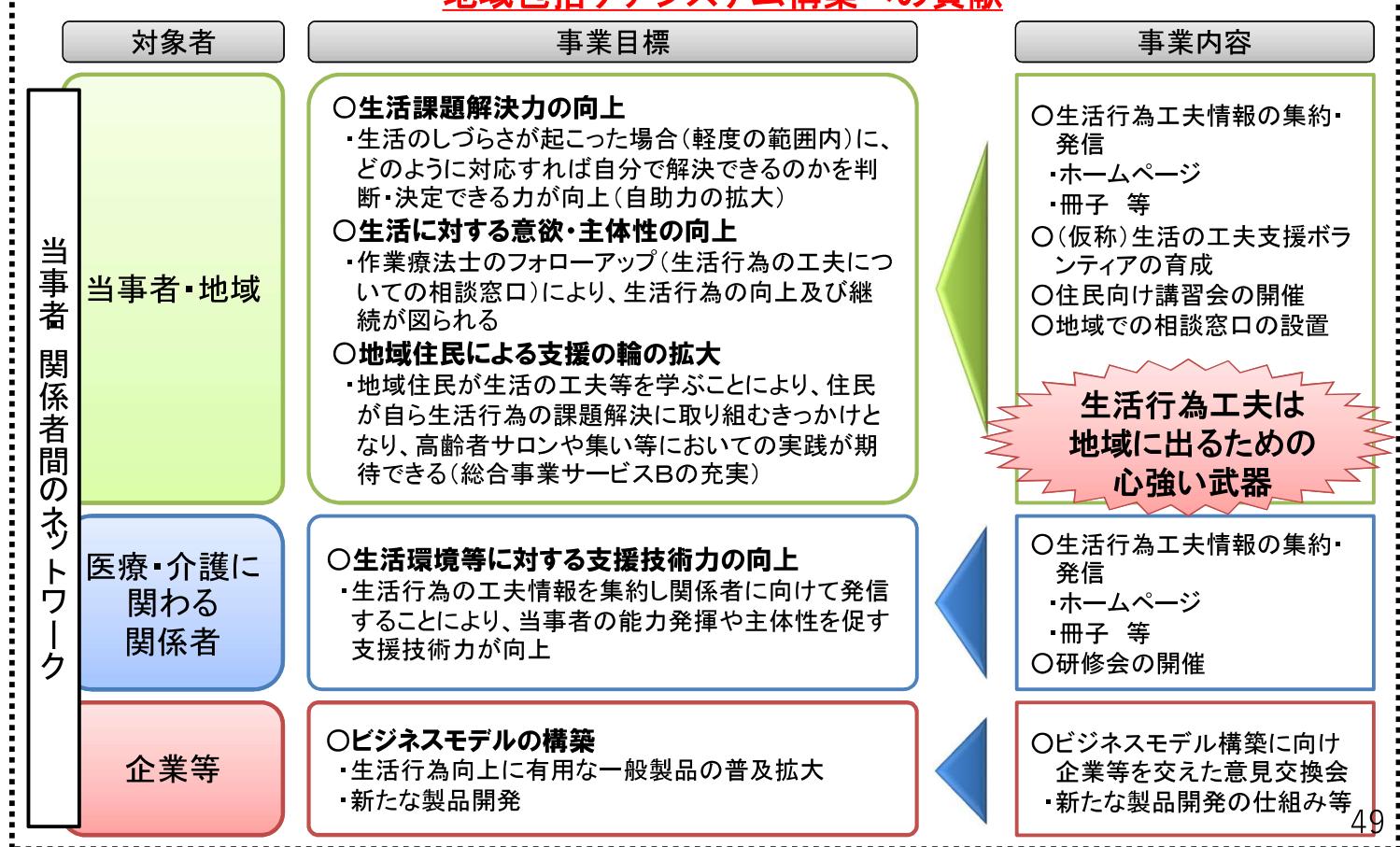


心身機能・構造の特徴	片側の上肢・手指(Br.stage 左上肢V 左手指II)の機能障害
活動・参加の制限の特徴	上衣のファスナーを閉める動作が、一人で行うのに時間を要していた。
工夫したポイント	ファスナーの下止を、クリップ固定することで、片手でのスライダー操作が容易になった。
利用上の留意点 (注意点、デメリット等)	ファスナーの下止固定位置が適正でないと、スライダー操作時に、クリップ固定が外れる可能性がある。
使用した製品	商品名(材料名) コーティングクリップ、カバン用ショルダーベルト、アンクルベルト 入手先・価格 100円均一店 324円
備考	

48

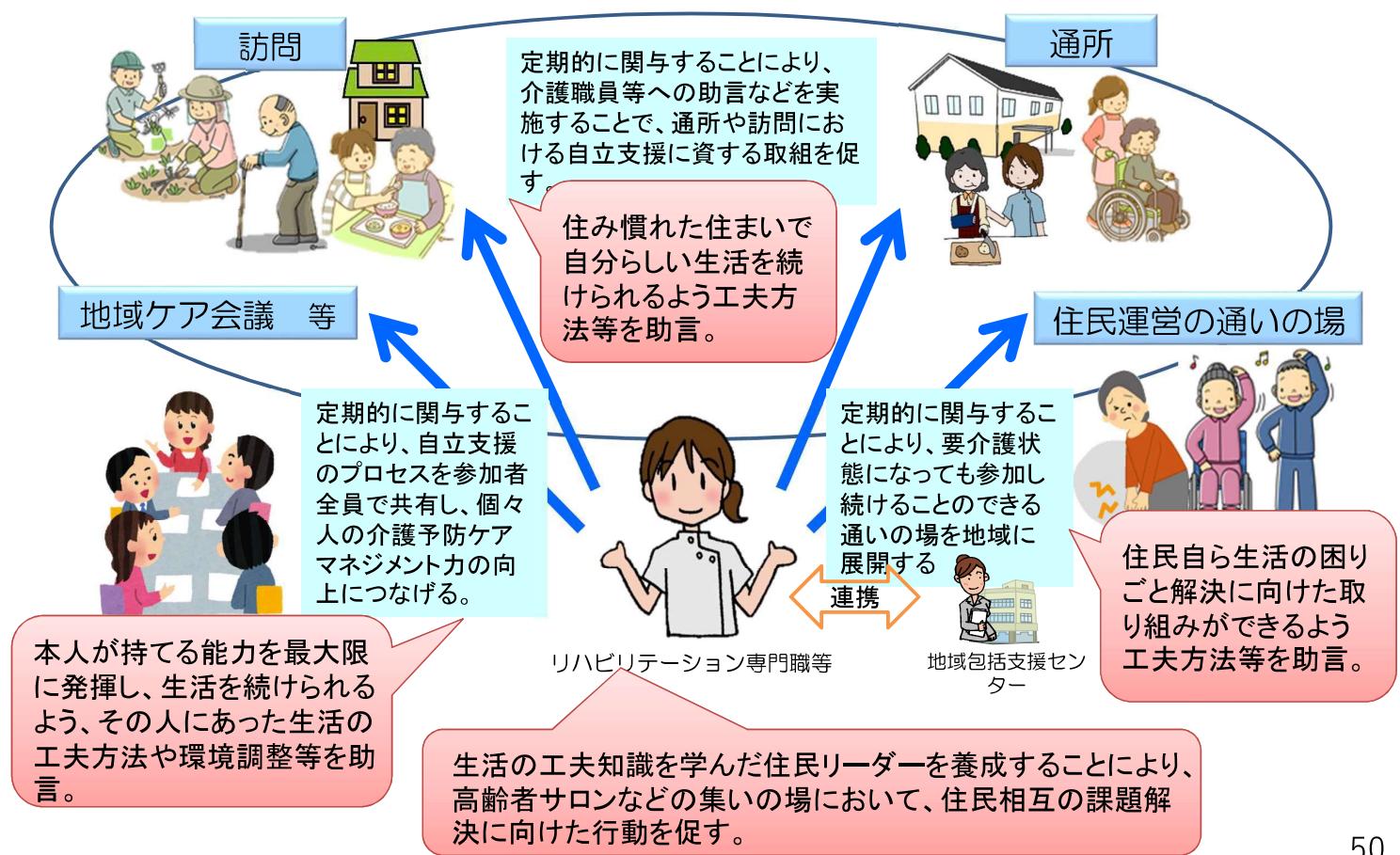
事業の全体像

地域包括ケアシステム構築への貢献



49

生活行為がしづらくなった方への課題解決方法等の周知イメージ



50

生活行為工夫情報事業への参加方法

参加方法について

- 「生活行為工夫情報事業」への参加を希望する場合は、下記事業担当者もしくは事務局までご相談、ご一報ください。委員会内で調整の上、改めて「生活行為工夫情報事業参加申請書」を送付させていただきます。

事業経費について

- 事業を実施するにあたり、必要経費(交通費、会議費、印刷費、消耗品費等)を予算の範囲内で手当します。

(2021年度実績)

一士会あたり20万円程度

その他

- 士会内の関係者への事業説明等が必要な場合は、ご連絡下さい。

(連絡先)

生活行為工夫情報事業担当 宮永宛

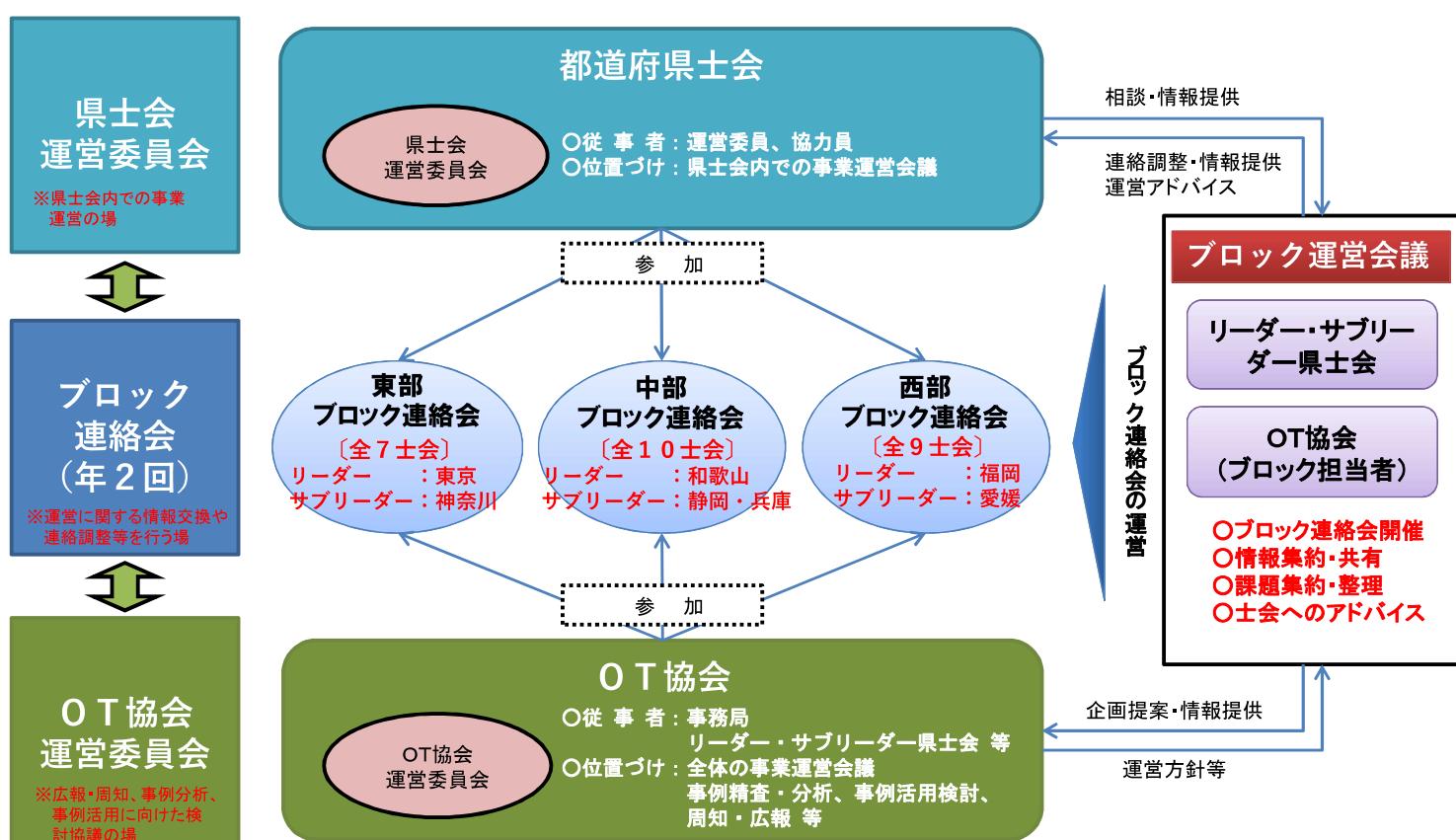
E-mail : keiichi_miyanaga02@city.kitakyushu.lg.jp

日本作業療法士協会 事務局：杉田潤一郎

E-mail :j-sugita@jaot.or.jp

51

生活行為工夫情報 ブロック連絡会について(参考)



52

ブロック連絡会の体制について(参考)

		東部ブロック	中部ブロック		西部ブロック
県士会	リーダー	東京 (代表:金子)	和歌山 (代表:小林)		福岡 (代表:櫻木)
	サブリーダー	神奈川 (代表:山崎)	静岡 (代表:岡本)	兵庫 (代表:大仲)	愛媛 (代表:篠森)
	士会	北海道、福島 茨城、栃木、新潟 [全7士会]	山梨、富山、石川、 福井、愛知、滋賀、 大阪 [全10士会]		広島、山口、佐賀、 長崎、熊本、鹿児島、沖縄 [全9士会]
事務局	全体	渡邊(総括)、桑田(委嘱・会計) 島ノ江・田中(栄)(システム)、山下・宮永(企画運営)			
	ブロック担当	・沼田(リーダー) ・塚原(サブ) ・東 ・小玉	・内山(リーダー) ・加藤(サブ) ・濱 ・机	・植田(リーダー) ・古賀(サブ) ・北島 ・鴨下 ・高橋 ・阿南	

53

生活行為工夫情報 事例審査研修会(参考)

- 生活行為工夫情報の審査については、各士会の担当者(運営メンバー)が「手引き」に基づき事例内容の確認を行うとともに、必要に応じて登録者への問い合わせなどを行い、内容の適切性・妥当性等を判断した上で掲載の可否を決定しているところ。
- 一方、事例について求められる内容については、審査を行う担当者間で意識の差があり、また、作業療法士として法的責任の観点から必要な安全対策や留意点等について、その考え方を共有することも重要なことから、本研修会を開催し審査の平準化を図ることとするもの。

【研修会の概要】

日 時:2021年7月10日(土)17:00~18:30(90分)

場 所:Web開催

項目		時間	備考
1	モノづくりを行う上でOTが関わる意義と専門職として押さえておくべきこと	30分	講 師:長尾哲男
2	法的責任について ・PL法との関連について ・OTとしての説明責任 など	10分	担 当:宮永敬市
3	事例を通じてのポイント学習 ・OTとしての工夫点 ・安全利用に対する留意点 ・その他活用の広がり など	50分	担 当:山下剛正、濱昌代 助言者:長尾哲男

54

生活行為工夫情報基礎研修 標準資料(案)について(参考)

- 作業療法士は、当事者が地域の中で自分らしく生活し続けられるよう、生活行為向上を図ることを目的に生活環境に働きかける技術（動作・方法の工夫の支援、用具の支援、住環境の支援等）を用いた支援を職能として行っている。しかしながら、一人ひとりの知識や経験によりその技術力に幅があるため、現場で実践できる人材育成が必要となっている。
- 今回、生活環境支援技術の内、生活行為工夫の視点から基礎的な研修内容をまとめ、現場において活用していただくもの。

【教材内容】スライドによる研修資料

講義	1. 生生活行為工夫の意義 2. 暮らしの地図をひろげてみよう 3. 対象者の希望・ニーズを踏まえた支援 4. 生活行為工夫情報事業について(情報提供)
ワークショップ	5. 事例を用いたグループ演習(方法のトレーニング)
演習(体験)	6. 加工道具の使い方 7. 用具製作

【利用方法等】

- 項目ごとに資料を分けているので、士会の実情に応じて研修を組み立てて利用することが可能。また、必要に応じて研修資料に士会独自の資料を加えることも可能。
- ノートに基本的な解説を記入しているので、講義の進行の参考としていただきたい。 55

生活行為工夫情報における職業倫理体制(参考)

